



福島県鉄工機械工業協同組合 経営研究委員会

発行日平成 14 年 12 月 25 日

組国会報第 3 号

- 1 理事長から
- 2 福島市工友会
- 3 財務講習会開催
- 4 福島市技能功労者表彰
- 5 組合員紹介
- 6 パソコン技能習得通信講座を受講して

理事長挨拶

藤橋 進一郎

厳寒の候、平成 14 年度も残すところ後わずかとなり、厳しさの中にも何とか新年を迎える事が出来るのではと少々安堵致しております。

今年一年間、前理事長星野氏からバトンを渡され、無我夢中でそれぞれの行事を何とかこなして参りましたが、組合員の方々には何かとご不便をお掛けした事も多々あったかと思ひますし、当初一社一社を訪問しお話を聞く機会を得たいと考えておりましたが、県、市、中央会、ハイテクプラザ、関係機関との会議に出席することが多く、まま成らぬ毎日を過ごす事となり、身を持ってこの重責を感じておる所であります。

組合運営に於いても、各委員長には色々な角度からお力添え戴きました事、3号会報を借りまして、あらためて厚く感謝申し上げます。

さて、バブル崩壊後、長い年月を経ても未だに不透明感の漂う日本経済の中にあって「ものづくり」に対する中小零細企業の活路については、我々製造業の優位性、グローバル化する市場で戦う為の戦略を、地域社会とのネットワークを活用し元気な企業に再生する事こそ、組織としての大きな使命と意義があるように思われます。

いまだに 50 数パーセントの支持率を持つ小泉内閣の行政改革は、丸投げ政策とも言われいまだにその活路が見えないまま、不良債権処理、道路公団、郵政民営化 3 事業も暗礁に乗り上げた感じで、日本再生のグランドデザインが見え難く国民の生産意欲と労働意欲まで薄れて来ているように見えて成らない。前段でも申し上げましたが、鈴木巖 氏の福島市技能功労受賞を契機に組合員の持つ技術の優位性を生かし、ネットワークにより創造性といち早い対応を強めていく事こそが、競争社会の中で優位性を具体化していけるのではと考えます。

次世代に未来ある製造業の発展の為、組合員の皆様と一緒に頑張っていきたいと考えております。

最後に、この度他界なされました、蓮沼エンジニアリングの蓮沼正善様のご冥福を祈り、挨拶文とさせていただきます。

会議及び会合等報告欄

開催月日	事 項
11/ 6	第2回精密ショットピーニング研究会
11/12	ISO14001認証取得実践講習会
11/12	福島市技能功労者表彰式
11/18	経営戦略研究グループ11月例会
11/20	福島県中央商工振興協同組合総代会
11/21	2002福島広域商談会
11/21 ~22	ビジネスクリエーション東北2002
9/27	福島県第49回溶接技術競技会表彰式
10/2	役員会・西口複合施設説明会
11/26	福島市中小企業経営セミナー
11/29	㈱福島製作所協会役員会



福島市工友会開催

平成14年度第1回福島市工友会が開催された。

開催日 平成14年11月15日(金) えびすグランドホテル
出席者名 福島市8名 当組合関係者14名
懇談内容 福島市工業行政について
当業界の現況について
工友会の存続について

工友会の活動の経緯

福島市に単協が4組織あり、それぞれ個別に事業活動を行っていたため、統一した意見交換がなされなかった。そこで、十分な意見交換が図れるよう業界と市政とのパイプを太くするために、昭和47年福島市商工部・部長、課長、担当職員の各位と業界代表者とで福島市工友会を結成し、爾来30年間、業界の現状を訴え、工業振興に寄与する活動を続けて来た。
毎年定例会を2回開催・工業研修会を1回開催して来た実績がある。

今後の活動方針

平成4年に組織再編成を実施、其々の組合は福島県鉄工機械工業協同組合に一本化された。そのため、平成14年度を以って福島市工友会を解散し、今後は福島県鉄工機械工業協同組合を窓口福島市と連携を図っていくこととなった。事業の推進にあたっては、従来どおりご支援ご協力を頂ける事と決まった。

福島大学の行政社会学部の学生が製造業の現場を見学に訪れた。

「地域と行政」という科目の中で地域産業をテーマにしている学生が、中小製造業の現場を見学したいとの事で12月18日午後1時から(株)ホシ製作所のご協力を得て工場見学に訪れた。社長さんと部長さんからの企業説明を受け、学生は、教科書では「日本の物づくりは高い技術水準にあるから心配を要しない」と書かれてあったがどうなのか? 地域と行政との係わり合いについては? 等々質問事項を挙げ、熱心に聞き入りメモを取っていた。現場は、工場長の案内で部品の出来上がる工程を見学し、CADの入力、プログラム入力の仕方等も教わり、午後2時30分に終了した。

12月20日 (株)永沢工機

1月16日 (株)佐藤機械工業

1月17日 (有)高橋工業所 の、ご協力を得てそれぞれの工場を見学する予定になっております。



財務講習会開催

11月19日、経営委員会と福島市との共催で「会社の価値を高める財務講習会」という演題で公認会計士・税理士である佐藤 成先生をお呼びしまして講習会を開催いたしました。ポリテクセンター福島の会議室に組合員、組合員企業の従業員及び組合職員の合計22名の方の参加がありました。始めは財務諸表のどの科目を特に注意して見るか、キャッシュフローの重要性、借入額は年間売上額の何%までが良いか、そして金融検査マニュアルを使い銀行が各企業をどのように査定しランク付けしているか等のお話で身の引き締まる時が何度もありました。質問に対して140分の予定時間をオーバーしてまでも分かり易い回答をしていただき感謝しております。

さて問題 企業の借入額は年間売上額の何十%までが健全とされるのでしょうか。

福島市技能功労者表彰

この度(有)鈴木製作所の鈴木 巖社長が、平成14年度福島市技能功労者表彰を受けられたのを祝して12月12日にホテル辰巳屋にて「受賞を祝う会」が催されました。

壇上の鈴木ご夫妻は、藤橋理事長と来賓の方々からの祝辞を緊張した面持ちで聞いておられました。それでも、姪御さんからの花束贈呈の際には普通の「叔父さん」の表情になっていたようです・・・(笑)
続いて、挨拶にたった鈴木社長は、先達者への感謝と今後の一層の精進を誓うと共に参列者へのお礼の言葉を述べられ、山川甚松氏(有)山川工業所)の見事な祝謡「春栄」に感激されていました。乾杯に続いて祝宴が始まり、美味しい料理に舌鼓を打ちながらの歓談では各々に近況報告。多くの出席者に恵まれた祝賀会は、盛況のうちに三本締めで閉幕致しましたが、一部の方々には夜の街へと繰り出していった模様です。



組合員紹介

有限会社 阿部鋼建

代表取締役 阿部 隆弘
福島市山口字茶畑 8 - 4

昭和35年生まれの42歳。 昨年、先代社長であったお父様が亡くなられた後を受け社長に就任。仕事の内容は、鋼構造物工事製缶板金を主とし、鉄骨の製作加工、倉庫や車庫の製作も受注する。趣味は、ドライブや映画、音楽鑑賞等で、昔からのコレクションは、LPレコード約300枚、レーザーディスク約150枚、CD300枚、他にビデオも多数所持、オーディオ関係も結構凝ったとか。 4年前に結婚し、最近は子供と遊ぶ機会も増え、昔ほどは聞いていないとのこと。



有限会社 鈴木製作所

代表取締役 鈴木 巖
福島市南町458

鈴木巖（昭和20年3月10日生れ）昭和38年に父鈴木勇氏の経営する、有限会社鈴木製作所に入社、機械加工一筋に39年従事、この間昭和63年に代表取締役に就任し現在に至る。

平成14年度福島市技能功労者表彰を受賞（祝う会の模様は前ページ記事参照）

巖氏の趣味は多彩で、卓球・スキーはプロ並、最近では、山歩きで目に留まった山野草の可憐な花々に感動し、3年前から本格的な登山に目覚めた。今年、5月から9月までの間に6箇所の山々に登った。特に尾瀬の燧ヶ岳に登り、眼下に広がる湿原と尾瀬沼に魅了されたと話す。今度は富士山に挑戦したいと熱く語ってくれました。登山は奥様との共通の趣味でも有り、ご夫婦と一緒に、その実現に向けて体力作りに毎日2回、5キロメートルを1時間かけてウォーキングするトレーニングを欠かさない。

ご夫婦の写真は、燧ヶ岳山頂から尾瀬沼を望む



只今勉強中

教育訓練給付制度を利用してパソコン技能を修得中の(有)藤橋歯車鉄工所佐藤眞里子さんにスポットを当てました。

教育訓練給付制度とは

働く人の主体的な能力開発の取り組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の新しい給付制度です。

厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し終了した者に対して、教育訓練経費の80%に相当額（上限30万円）をハローワークから支給される。

「パソコン技能習得通信講座」を受講して

(有)藤橋歯車鉄工所
佐藤眞里子

会社内でパソコンを使用しての業務が増えていて自分のデスクで使用できる「MYパソコン」が欲しい為に受講した講座でした。

「3ヶ月以上1年以内で終了し 終了後に80%の給付金が戻ってくる」というおいしい話でしたので当初 軽く考えていましたが、なかなか進まずたぐいま奮闘中です。

まず、受講の申し込み及び受講料375,000円振り込み（自費です）後日テキストが、8冊とテスト問題の入ったフロッピーが届きます。パソコンは10日後位に届きます。

テキストに沿って学習し、フロッピーの添削問題を解いて送り返します。

（フロッピーは4枚 50問位ずつ入っています）

・・・という結構順調に進みそうでしょうか？ところが、基本が出来ていないものですからPC用語の問題がなかなか難しく思うように進まないというのが現状です。

と言う事から、自宅学習で自分ひとりの学習はあきらめ、福島情報サービスで「パソコン技能習得支援サービス」に通い始めました。（受講料は別途かかりますが社長からの支援を戴きラッキーです。）

教えてくれる人がいるというだけで安心できますし、結構楽しいです。

まあ、気長にがんばろうと思います。（給付金も欲しいので）



組合からのお知らせ

・ご冥福をお祈り致します。

蓮沼エンジニアリング 事業主 蓮沼 正善 様が平成14年11月25日ご逝去され、11月28日告別式が執り行なわれました。謹んでお悔やみ申し上げます。

・組合事務局の年末・年始休業について

平成14年12月28日(土)～平成15年1月5日(日)

行事予定

1月 4日(土) 午前11時 ホテル福島グリーンパレス 福島市新年市民交歓会
1月28日(火) 午後6時 えびすグランドホテル 新年会開催

青年部活動報告

11月21日 青年部役員会
パソコン講習会内容検討
組合会報3号打ち合わせ
12月14日 青年部会忘年会 福島市内 15名参加

中小企業団体青年中央会参加報告

9月12日 第一回組合青年部代表者会議 郡山
10月16日 青年中央会全国交流会 埼玉
11月13日 北海道・東北ブロック組合青年部交流会 秋田

編集後記

モノ造りも四苦八苦しながらやっていますが、文章を読んだり編集したりと言う作業はさらに不慣れなため、使っていない脳味噌をこねているようで頭痛がしてきます(アレッ風邪かな?) by M.H

編集 池田憲男、星野真弘 取材担当:高橋俊樹、引地正輝、星野真弘、横山康夫、早坂、

発行 福島県鉄工機械工業協同組合 URL [Http://www.tekkou.or.jp](http://www.tekkou.or.jp) Email mail@tekkou.or.jp

〒960-8057 福島市笹木野字南中谷地21-4

TEL 024-558-8011 FAX 024-558-8013